

本市には、様々な企業が立地しています。市民の皆さんはどのような企業があり、そこでどのような製品が誕生し、またどのような人が働いているかご存じでしょうか。「企業のちから」は、市内の企業やものづくり・人づくりを紹介するコーナーです。

市内企業の
ものづくり・人づくりを紹介！
企業の
ちから

No43 The company in Shirakawa

有賀醸造合資会社

住所：東釜子字本町96
事業内容：日本酒・マッコリの製造・販売



伝統製法を基に時代のニーズに合った
品質本位の酒造りを追求



- ① 主な商品。年間で一升瓶7万本を生産しています。
- ② 県道棚倉矢吹線に面した店舗の外観。裏手には酒蔵があります。
- ③ 従業員の皆さん。外部からの杜氏を雇わず、自分たちだけで造り上げています。
- ④ 酒造り体験用のタンク。仕込みから絞りまで、本格的な酒造りが体験できます。この他に販売用の醸造タンクが大小20本あります。
- ⑤ 最も重要な麹造りでは、米粒がひとつひとつになるよう、丁寧に手でわけています。
- ⑥ 左から杜氏の有賀裕二郎さん、代表社員の有賀義裕さん。後ろには、越後高田藩に御用商人として命じられたときの看板が掛かっています。

「私たちの会社は、原料米からこだわり、お客様に喜んでもらえるような品質本位の酒造りをしています」と話す代表社員の有賀義裕さん。

旧釜子村は、江戸時代末期、越後高田藩の飛び地として治められていました。有賀醸造は、その大名から酒造りを命じられ、1774年(安永3年)に創業。日本酒のほか、現在はマッコリも製造していて、全国に出荷しています。マッコリは、本場韓国産の甘さや酸味が強いものに比べ、日本人の味覚に合うよう、原料は米と米こうじのみを使用、日本酒造りの手法を取り入れた独自製法で、発泡感があり甘みが程よくすっきりとした飲み口に仕上げられています。

敷地面積は約2,000㎡、従業員は8人。米や水の特性を最大限にいかし、安定した品質にするため、米は県内の同じ水田で収穫されたものを、水は蔵内の井戸水を使用しています。また、様々な工程から成る酒造りは、一つでも手を抜くと品質にすぐに現れるため、秒単位の管理もしています。

「一生の粋な酔いを」テーマに、お酒を飲みながら日本人の粋を感じ、気持ちよく酔ってもらえるような酒造りを目指しています。伝統を残しつつ、時代に合った造り方を模索し革新していきたいです」と杜氏の有賀裕二郎さんは目を輝かせながら話してくれました。

「広報白河」は再生紙を使用しています。

「いいね！」を押して市の情報をチェック



白河市公式ページ



<https://www.facebook.com/city.shirakawa>

Introduction of the cover

今月号の表紙

今月号の表紙は、「Decora しらかわ2015」で行われた、世界で活躍するダブルダッチのプロチームCAPLIORÉと、来場者の中から選ばれた子どもが縄跳びに挑戦している様子です。この後、目の前で迫力あるパフォーマンスが披露され、会場からは歓声があがっていました。

HEALING 癒し

東南地方の癒しのスポットを見つめよう!!

あゆり温泉
日帰り入浴が楽しめる天然温泉施設で、露天風呂もあります。泉質は美肌作用があるといわれています。「美人の湯」のツルツル感を味わってください。

大池公園
池の周辺を囲む赤松の林や四季折々の花が、散策する人たちの心を和ませます。バーベキュー施設もあり、自然を満喫しながら食事を楽しむことができます。

やぶきじくん焼き
矢吹町のイメージキャラクター「やぶきじくん」を型取った、たい焼き。あゆり温泉内のお食事処「あゆり宝夢」で販売しています。

海八幡三十三観音霊場
江戸時代中期頃に作られたもので、海八幡神社の崖下10m余りの隈戸川沿いの断崖に、仏像群が彫刻されています。遊歩道が整備されています。

自然と温泉を満喫できる矢吹町に、ぜひ来てくれはにゅ。
詳しくは矢吹町役場産業振興課 ☎2115) まで。

Shirakawa's holiday しらかわの休日。
Let's go out.

次回は、棚倉町をご紹介します!!

矢吹町には「大池公園」をはじめ、「三十三観音」など自然を楽しむスポットや「あゆり温泉」等の施設があります。自然と温泉を満喫できる癒しの町、矢吹町にぜひお越しください。